

国内実態調査報告書

テーマ : 商品開発マネジメントの探求
ゼミ名 : 菅野 洋介 ゼミ
調査日 : 2023年9月11日(月)～9月13日(水)
調査先 : アイリスオーヤマ、楽天野球団、キリンビール仙台工場
授業科目名 : 演習Ⅰ・Ⅱ
参加学生数 : 17名(3年生)

調査の趣旨(目的)

本実態調査の目的は、アイリスオーヤマにおける商品開発プロセス及びマネジメントについての調査、楽天野球団におけるスポンサー向け及びファン・観客向けのマーケティング施策についての調査、キリンビール仙台工場における生産工程の見学を実施することである。本演習では、企業の商品開発マネジメントの探求をテーマとしており、春学期では事例研究と理論的な学習を行ってきた。今回の実態調査では、各企業の現場におけるマネジメントにかかわる実際の話をお聴きすることで、理論と実践の関係について学ぶことを図った。

調査結果

アイリスオーヤマ株式会社

アイリスオーヤマにおける商品開発の基本的な考え方である「ユーザーイン発想」について、その成り立ちや実践方法について詳しくご説明いただいた。具体的には、①商品コンセプトと価格設定、②複数機能による伴走方式、③品質管理、④販売、という一連のプロセスが実際にどのように進められているのかを理解することができた。また、近年、事業の多角化が推し進められている中で、ユーザーイン発想とマーケットイン発想を掛け合わせた新しい商品開発の進め方がどのように実践されているのか、また、それを担保する組織的仕組みや当該企業が業界に先駆けて導入したメーカーベンダーの仕組みについてご説明いただいた。さらに、EC事業の物流拠点を見学させていただき、商品を発送するバックヤードの仕組みを理解することができた。

株式会社楽天野球団

東北楽天ゴールデンイーグルスを経営する楽天野球団では、スポンサー向けのBtoBビジネスと、観客・ファン向けのBtoCビジネスの両方が行われている。これらのビジネスが、楽天野球団のかかげる「ベースボールエンターテイメントカンパニー」というミッションのもと、どのように具現化されているのか、詳しいお話をうかがった。その中でも、東北地方・宮城県・仙台市の球団というアイデンティティをいかにビジネスに表現するのか、スポンサー向けの価値の創出、ボールパーク構想にもとづくスタジアムづくり、観客・ファンの獲得・維持のためのマーケティング施策がどのように行われているのかを理解することができた。

キリンビール仙台工場

一番搾りや本麒麟などが製造されている仙台工場の見学を行った。キリンビールの歴史や一番搾りの製造方法についてご説明いただきながら、実際の製造ラインを見学することで、ビールが製造される一連のプロセスや製法について理解することができた。